

# 馬と暮らす家 ～耐力格子による古民家再生100年空間～

日本遺産大山と共に  
 信仰と結びついた全国唯一の牛馬市  
 かつて生計の柱である農耕に欠かせない  
 牛馬の飼育が盛んであった大山  
 鉄道の発達などにより一度は暮を閉じたものの  
 和牛は今や世界的にも有名である  
 しかし、馬にも人々の心や生活を豊かに  
 することができるのではないだろうか・・・

とある家族が都会から鳥取の古民家に移住した  
 そこで、母方の祖父母とともに  
 自然豊かなこの地での農業・牛馬市の歴史を誇る  
 大山での馬の飼育・近年広い世代に注目されているCafe & BAR  
 この三つの要素が多様なアクティビティを生み育まれる

そしてその後さらに100年に渡り住まわれ続ける建築を提案する

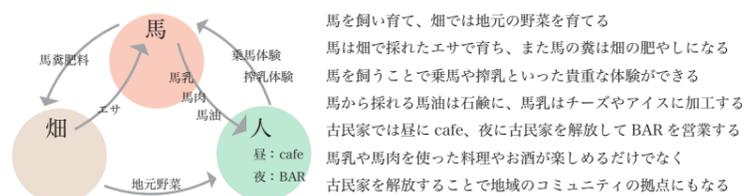
## 01. 馬と暮らす

### ■注目のとっとり暮らし

空き家が増加する鳥取県内では、県内各地域で生活や風土を体験できる移住体験イベント「鳥取暮らし体験ツアー」を実施し、それらの取り組みによって2008年以降、県内の空き家を減少させることに成功している  
 そこで鳥取暮らしがより多くの人に求められ進むようにモデルプランとして計画する



### ■馬を飼いカフェ・バルを経営



## 02. 耐力格子による空間再生

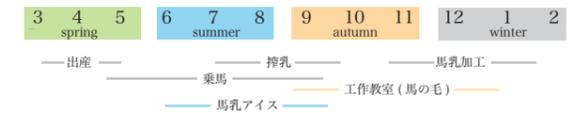
### ■古民家を100年持たす構造補強



□ 500×500

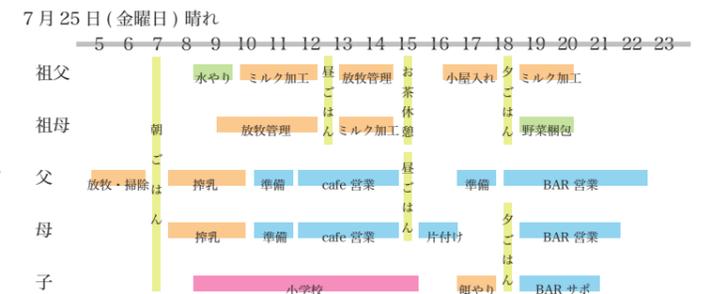
古くなった古民家を改修し、のちには  
 100年この住宅を利用していくために構造を補強する必要があった  
 100×100の部材で格子パネルをつくり構造補強を行う  
 格子パネルで補強することで通風・採光を犠牲にすることなく  
 自由なデザインと見た目の美しさがあり  
 伝統的な古民家の雰囲気を壊すどころか魅力を広げる  
 また大山で採れる間伐材を使用して製作することを想像しており  
 地域林業の活性化にも繋がり地方創生も同時に目指す

### ■年間のイベントスケジュール



仕事の基本は馬の世話で「馬小屋の清掃」、「餌やり」、「仔馬の哺乳・育成」を毎日行う  
 牛の場合だと1年間を通して搾乳ができるが、馬は主に7月から9月にかけて搾乳することができる  
 搾乳の季節には児童を招き搾乳体験を行い、地域を馬で歩く乗馬体験も行い積極的に地域と交流する  
 搾乳したミルクはアイスやチーズに加工されカフェでも味わえ、また石鹸や化粧品に加工し販売も行う

### ■1日の家族の暮らし方



### ■生活・カフェ空間を豊かにする格子

格子は耐力格子だけでなくとどまらない  
 光や風・視線をコントロールするために縦格子・横格子・斜め格子・二重格子と  
 複数のタイプの格子が空間を豊かにすると共に快適な空間を実現している  
 縦格子は建築の外側に面するところに配置しカフェからの庭の風景や  
 客間からの庭の風景を掛け軸のように切り取る  
 縁側から放牧地に伸びる斜め格子は、馬が住宅に侵入してしまうのを防ぐ  
 と共に住宅のデザインのアクセントにもなっている  
 カフェ空間での耐力格子では馬の加工品を販売する棚にもなり  
 土間キッチンでは器やグラスが、書斎では本が並ぶ棚になる

## 03 提案

### ■平面計画

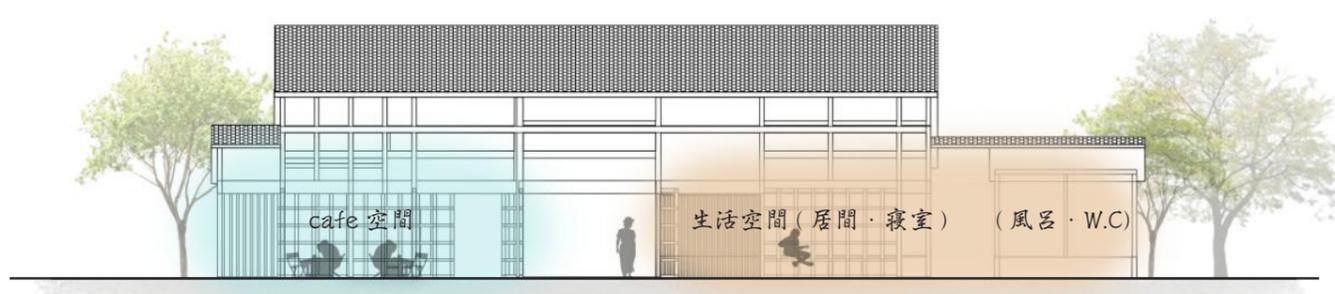
東西を貫く通り土間で  
 生活スペースとカフェスペースを分けて計画した  
 カフェスペースには馬乳工房や座敷のスペースがある  
 生活スペースは土間キッチン以外フラットな空間で  
 水回りのみ離れのようなカタチで配置した

### ■断面・立面計画

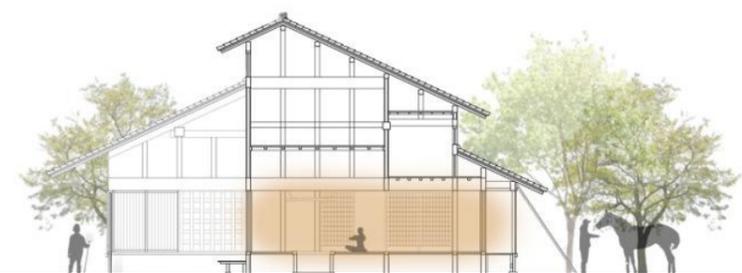
ほぼ全ての躯体を残して改修している  
 断面計画では大山からの自然の風が住宅を  
 抜けていくように東西に二つの抜けを意識した  
 外と内の空間の境界が格子や縁側によって曖昧になる  
 立面では伝統的な古民家のファサードを保ったまま  
 斜め格子や縦格子による新しい顔を加えている



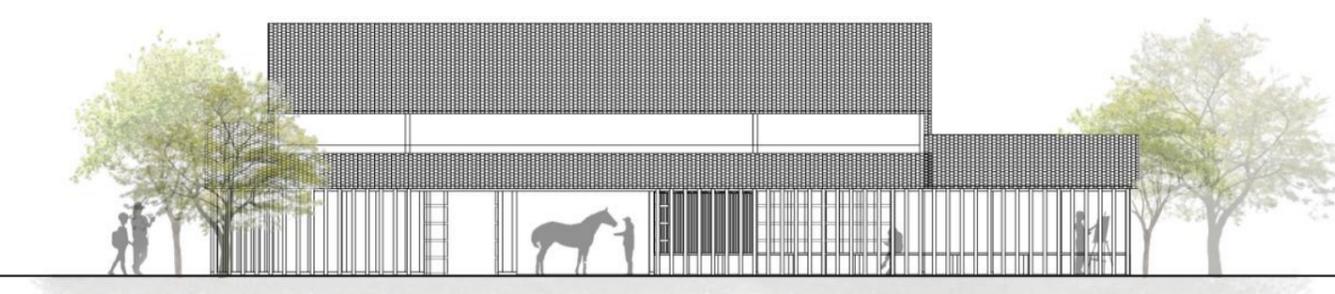
古民家改修後平面図 1:150



A-A' 断面図 1:150



B-B' 断面図 1:150



東側立面図 1:150